

## 室戸沖～紀伊水道沖の微動活動（2022年1月）

- ・ 2021年12月24日頃より室戸沖～紀伊水道沖にかけて、活発な微動活動。
- ・ 2022年1月12日頃より活発化し、東西双方向に活動域が進展。
- ・ 現在（2022年2月15日時点）、活動は収束傾向。

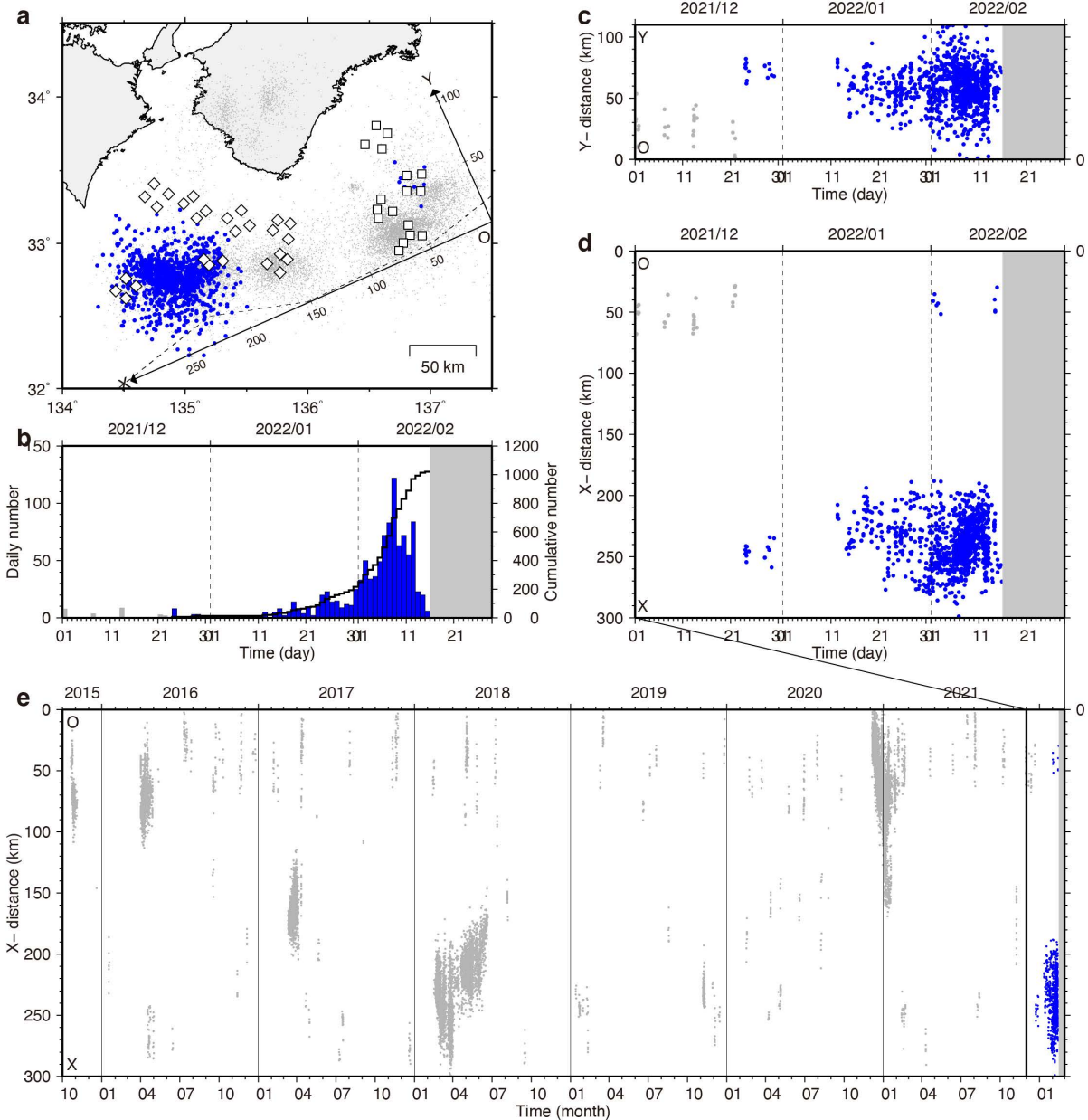


図1：微動の時空間分布。2022年2月15日までの処理結果。(a)震央分布。2021年12月24日以降の微動を青、それ以前の微動を灰色の点で示す。□◇はそれぞれ DONET1, DONET2 観測点。点線は海溝軸。微動の検出・震源決定にはエンベロープ相関法(Ide, 2010; Ohta et al., 2019)を用い、DONET1 および DONET2 の水平2成分速度波形(2-6Hz)を使用。(b)検出数の日別ヒストグラムと累積。2021年12月24日より室戸沖で小規模活動。少し間を置いて2022年1月12日より活発化。(c)震央の時空間分布。沈み込み傾斜方向(Y軸)に投影。浅部側・深部側の双方向に進展。(d)沈み込み走向方向(X軸)に投影。大局的には室戸沖～紀伊水道沖間で東西双方向にゆっくりと震源域が拡大、局所的には西から東(或いは東から西)へのより速い震源移動が見られる。(e)2015年10月から全期間の微動の時空間分布(X軸投影)。室戸沖～紀伊水道沖では過去に2018年2-6月にかけて大規模な活動。